

「住みながら新しい体験ができる賃貸住宅」を展開する Hmlet Japan

スカイマークの協力で羽田＝宮古（下地島）線利用による宮古島モニター企画を実施

2022年3月25日

「住みながら新しい体験ができる賃貸住宅」を展開する Hmlet Japan 株式会社（東京都千代田区、代表取締役：佐々木 謙一、以下ハムレット）は、都市圏と地方を自由に行き来するフレキシブルな暮らし方を提案すべく、スカイマーク株式会社（東京都大田区、代表取締役社長執行役員：洞駿氏、以下スカイマーク）の協力のもと、宮古島滞在モニター企画を実施しますのでお知らせします。

本企画では、ハムレット入居者よりモニター参加者を募り、当選者にスカイマークが運航する羽田＝宮古（下地島）線航空券を提供し、宮古島での滞在を体験していただきます。

ハムレットではイベントなどの開催を通じて入居者同士の交流をサポートするなど、様々な国籍・職種の方と出会える場をご提供しています。このたび、身近な価格で飛行機による移動を提供するスカイマークの協力でキャンペーンを実施することにより、都市圏と地方の拠点を自由に行き来するようなフレキシブルな暮らし方を提案し、ご入居者様が第2のふるさとを発見していただくサポートを行ってまいります。

スカイマークが運航する羽田＝宮古（下地島）線は、国土交通省が実施した「羽田発着枠政策コンテスト」にスカイマークが沖縄県、宮古島市、下地島エアポートマネジメント株式会社と共同で応募し暫定運航が認められている路線です。

また、スカイマークは地域と連携し、本路線のほか、同時期に開設した神戸＝宮古（下地島）線、那覇＝宮古（下地島）線の利用促進に取り組んでいます。

今回の宮古島滞在モニター企画の実施に際しては、宮古島市及び株式会社マッシュグラ沖縄タイムスよりコワーキングスペース「宮古島 ICT 交流センター」「howlive 宮古島店」の無償体験利用権の提供を受けるとともに、下地島空港活性化協議会（※）と連携したモニター参加者へのアンケートを実施し、地域における受入環境整備等の課題解決の一助とする予定です。

（※）宮古諸島の受入環境整備や下地島空港の航空路線プロモーションなど、下地島空港活性化に資する各種事業の立案並びに実施することを目的として、2020年8月に宮古島市、沖縄県、（一社）宮古島観光協会、宮古島商工会議所、下地島エアポートマネジメント株式会社にて立ち上げた組織。

● 「宮古島滞在モニター」企画概要

【企画概要】	ハムレット入居者による宮古島滞在モニター
【募集人数】	2名
【応募条件】	ハムレット運営施設に入居する18歳以上の方 日本語又は英語でのコミュニケーションが可能な方
【提供内容】	羽田＝宮古（下地島）往復航空券、宮古島 ICT 交流センター・howlive 宮古島店 最大5日間無料利用権、みやこ下地島エアポートターミナル商品券1,000円分
【協力内容】	宮古諸島滞在後のアンケートへの協力、SNSでの宮古諸島の情報発信
【募集期間】	2022年4月1日～4月20日
【モニター期間】	2022年5月10日～9月30日のうち任意の期間（一部除外期間あり）
【主催】	Hmlet Japan 株式会社
【共催】	スカイマーク株式会社、下地島空港活性化協議会
【協賛】	株式会社マッシュグラ沖縄タイムス（howlive、ICT 交流センター運営会社）、 下地島エアポートマネジメント株式会社

● スカイマーク株式会社について

スカイマークは、日本の空に新しい風を吹かせることを目的に1996年11月に設立されました。2021年10月には新たに宮古（下地島）へ就航し就航地は全国12か所に拡大、現在では毎日およそ150便を運航しています。

「安全・安心・快適なフライトと温かく誠実なサービスを身近な価格で提供する」ことを企業ミッションに掲げ、基本品質の向上に力を入れており、2021年には定時運航率4年連続日本一を達成しました。また、地域共生や企業とのコラボレーションにも注力しています。2021年にはそらとぶピカチュウプロジェクトに参画し、ピカチュウジェットの運航を開始しました。就航地の活性化に貢献できればとの思いから、沖縄（那覇・宮古（下地島））路線を中心に運航しているほか、各種イベントやチャーター便にも供しています。

会社名：スカイマーク株式会社

所在地：東京都大田区羽田空港3丁目5番10号

ユーティリティセンタービル8階

設立日：1996年11月12日

事業内容：定期航空運送事業他

代表者：代表取締役社長執行役員 洞 駿氏

公式サイト：<https://www.skymark.co.jp/ja/>



● Hmlet Japan 株式会社について

ハムレットは、新しい住まいとライフスタイルの提供を目指し、三菱地所株式会社とHmlet Pte.,Ltd.（本社：シンガポール）が2019年に設立したコリビング（賃貸住宅）の運営会社です。コリビング（賃貸住宅）は、働き方やライフスタイルの価値観が変化するなか、20代～30代のミレニアル世代を中心にニューヨーク、ロンドン、シンガポール等の世界主要都市において普及しつつあります。ハムレットは日本におけるコリビングのパイオニアとして、大阪や名古屋等の大都市にもエリアを拡大、中長期的には10,000室以上の運営を目指します。現在、15物件（Hmlet 三軒茶屋・山吹町神楽坂・中野新橋など）を展開しております。

ハムレットの賃貸住宅は、都心の駅近立地に、1 カ月からご利用いただける 1K~2LDK の住戸をご用意しております。各住戸は家具付き・無しを選べるほか、全ての物件は水光熱費込みで、入居後すぐに新生活スタートが可能です。また、コミュニティ・マネジャーが日常的な相談に応じるほか、イベントなどを企画・運営し、入居者同士の交流をサポートします。スポーツやアート、料理など楽しみながら新しい文化に触れてみたり、起業や今後のビジネスライフにお役立ちいただけるようなネットワーキングイベントに参加してみることも出来ます。今後もご提供できるサービスを順次拡大しながら、様々な国籍・職種の方と出会える場をご提供してまいります。

入居者は、専用のウェブサイト・アプリを通じ、住まいの不具合等に関する連絡や部屋の清掃といった生活サービスをワンクリックでオーダーできるほか、賃料はクレジットカードでもお支払可能です。



会社名：Hmlet Japan 株式会社

所在地：東京都千代田区大手町一丁目 1 番 1 号

設立日：2019 年 10 月

主要株主：三菱地所株式会社・Hmlet Pte.,Ltd.

事業内容：Co-Living 事業施設の運営

代表者：代表取締役 佐々木 謙一

公式サイト：<https://bit.ly/hmletjapan>

● 宮古島 ICT 交流センターについて

宮古島 ICT 交流センターは、宮古島市急下地町庁舎を改修したサテライトオフィスおよび地元住民が気軽に使えるコワーキングスペースとして 2019 年に開設された施設です。ICT 交流センターのある 3 階エリアは元議場となっており、議席をそのまま残した非日常空間でテレワークをすることができます。セミナーにも多々利用されており、プロジェクターやモニター等の備品を完備しています。



● howlive 宮古島店について

howlive 宮古島店は、沖縄県内多拠点にコワーキングスペースを展開する howlive 初となる沖縄離島型店舗です。琉球銀行と提携し、宮古島で 1 番の繁華街である西里通りにある琉球銀行ビル内に 2021 年にオープンしたばかりのフレキシブルオフィスです。ワーケーション、本土企業のリゾートオフィス、企業の地方進出拠点として利用されています。事務所利用が可能な個室、20 名規模の会議室や WEB 会議用の個室がありコロナ禍による地方テレワークの可能性を拡大する設備を完備。会員は 24 時間 365 日、施設を利用可能で現代の多様な働き方を応援しています。

